

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 22 年 10 月 20 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 00 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 22 年度第 7 回)		
出席者	田中会長、宮島副会長、荒井委員、荒木委員、石井孝二委員、石井信子委員、石坂委員、岩木委員、上原委員、金井委員、木内委員、竹田委員、西川委員、堀内委員、宮崎委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員 (欠席委員) 清水委員、玉井委員、西沢委員 (事務局)小宮山まちづくり協働課長、山崎まちづくり協働課地域振興政策幹、林まちづくり協働課課長補佐		
会議次第			
1 開会(山崎まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ 前回の地域協議会では政策企画課から地域まちづくり方針の見直しの検討に関する詳しい説明があった。城南公民館の建て替えについては、市長から意見を求められた件について、建物の規模等、配置図・平面図を添えて先日提出したところだ。今回の協議会では地域まちづくり方針評価シートに添って、今後の取組みの方向性などについて協議していこうと考えている。地域協議会だよりについても、次の発行の検討を始めたいと思う。よろしく願いしたい。			
3 会議事項			
(1) 評価シートに基づく「地域まちづくり方針」の見直しの検討について			
資料：「地域まちづくり方針評価シート・上田城南地域」			
まちづくり活動拠点の整備			
「上田 道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくり			
人や自然にやさしい交通機能の整備			
地域医療体制と保健福祉施設の整備			
地域で子どもを育てるまちづくり			
自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全			
歴史的・地域的資源の保全と活用			
事務局から説明			

【主な質疑等】

会長：項目ごとに皆さんのご意見をいただきながら、進めていきたい。まず城南公民館建設事業だが、これについては、まちづくり活動拠点の整備という基本計画の中に位置づけられている。平成 24 年の開館に向けて具体的に話が進んでいる。このことについてご意見や確認はあるか。

事務局：城南公民館においては、まちづくりの活動拠点会議室という部屋を造る。地域協議会・自治連・NPO など、市民が自由に使える拠点の会議室にしていきたいと思っている。今後公民館での利用についても含めて、ご意見をいただきたいと思う。

会長： のまちづくり活動拠点の整備について、利活用の運営についてまで含めた皆さんの意見・質問等お願いしたい。

委員：協議会としては、ハード事業は方針に従い促進していき、利活用団体との連携により、ソフト事業の検討を進めていただきたい。

委員：7項目の中には進んでいる事業もある。現地調査をし、検討する必要もあると思う。グループごとに分け、項目を割り振って検討していったらどうか。

事務局：まず、様々なご意見をいただいて、整理し、その次の進め方をご提案させていただきたいと考えている。

まちづくり協働課長：検証した結果、7つの項目全体として、H24年からH27年までの4年で進めていくのか。については全欄の部分の整備の促進についてはすでに終わっている。実際には作った後に生涯学習の機能や地域振興の機能も含めて、今後城南地域としてどのように進めていきたいか。その辺を重点的に検討していただきたい。については、整備についてはすでに終わっているが、分科会等で進めていただきたい。これからの運用について、協議会として市長に対して意見書を提出している。今後、道と川の駅をどのように賑わいを創出していくのか、具体的な考え方を検証する段階に進むのではないか。については、どのように検証して、後期計画の中につなげていくのか。についても長野病院と信大との連携協力も確立してきた。産院の移転もすでに決まっている。城南地域として医療体制についてどのように考えていけばいいのか。経過の中で見直しをしていかななくてはならない。本日は評価シートにおいて、整備が終わっているところはそのように皆さんに確認していただくようなご意見を出していただく。また、これについて見直しをした方がいいというような、細かい部分の意見を頂戴できたらと考えている。地域協議会からの地域まちづくり方針を踏まえて、後期基本計画を作成する作業になると思う。地域協議会からの意見は非常に重要なものになってくるので、ご協議いただきたい。

委員：城南公民館の建設、上田道と川の駅の開設、泉田保育園の建設について、どこまで進んでいるのかわからない。

会長：この三つの施設については現場を見ることも必要だ。それ以外の部分で関わった方に、説明していただきたい。

委員： の上田道と川の駅については、市の担当課とともに資料を添えて正確な説明をしたい。今は意見を控えたいと思う。

会長： 地域で子どもを育てるまちづくりの中で、保育園についてお聞かせいただきたい。出産育児から待機児童の問題、引きこもりの子ども達など、分科会の中で、教育という部分で議論し検討していくのはどうか。

委員：私は、あまり幅が広いとどうかと思う。

会長：7項目あるうちの1項目ごとに上田城南地域の地域まちづくり方針の文言を、修正することがあれば検討しまとめていきたい。

委員：文面の見直しということだが、意見を言われる方がいっしょになりがちなので、グループ形式のほうが良いと思う。

会長：前回までの分科会を基準にして決めてはどうか。第一分科会から内容のご説明をお願いしたい。

第1分科会（「上田 道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくり）：国道18号上田坂城バイパスの建設を促進する、というところはカット。ここにどのような文章を入れるのか、今後検討していきたい。プラスするのならば、バスが循環してもらおうのはどうか、看板も立てていきたいなど、今後検討をしていただけるような文章を入れる。

第2分科会（人や自然にやさしい交通機能の整備）：進捗状況については、評価シートのとおりだ。地域まちづくり方針の の文言については、この通りにさらに進めていただきたい。加えて、先日の古戦場マラソンに東京から参加した方は、タクシーを使って県営球場までこられたという。別所線の上田原駅からシャトルバスを運行したらどうかという意見も伺った。球場など色々な施設もあるので、循環バスの検討も含められたらと思う。道路関係は着々と進んでいるので、今後は1日も早い実現に向けて進めていきたいと思う。

会長：このことは道と川の駅への連続ということになると思う。両方で議論していただきたい。

第3分科会（「歴史的・地域的資源の活用」と「自然と共生を目指す里山の再生と農地の保全」）：自然と共生を目指す里山の再生と農地の保全について、千曲川は大きな川なので関係する方たちも多いが、浦野川はほとんど手が入っていなかった。小牧山や半過は地域の方々はずいぶん大切にしているので、開けていくように感じた。まちづくり方針の文章については、このままで残していきたい。

第4分科会（地域で子どもを育てるまちづくり）：政府では、幼稚園と保育園を一緒にすることを検討している。それを踏まえて、泉田、小泉統合保育園をひとつのモデル

ル保育園に持っていきたい。今後の問題としては、延長保育と学童保育の充実だ。上田市には待機児童がない。しかし量より質の時代を求めたいと思う。

委員：歴史的・地域的資源の活用の面で、わがまち魅力アップ応援事業の補助金の一環で上田原誌の作成発刊という作業を進めている。編集委員が9名、そこへ先生方に加わっていただき、進めている。スケジュール通りには難しく、委員会を増やしている。神畑でも神畑村誌を作成している。神畑の皆さんとも情報を交換しながら進めている。

会長：7項目について分科会で関わった方にご意見をいただいた。

1つは地域力の問題。地域協議会の今後の活動を展開する中で、取り組み方により地域差が出てきてしまう。地域の住む人たちの情熱、関心の強さ、リーダーになりうる方がいるかどうかで、地域間の格差を作ってしまうと思う。もう1つ不安に思うのは、家族という部分だ。高齢化が進み、高齢者が一人か二人で暮らしているのが今の状況だ。家族構成をお互いに認め合っていられるように、城南地域では勉強したいと思う。

委員：会長提案の課題を入れるとすれば、の地域医療体制と保健福祉施設の整備の辺りになるかと思うが、そこに文言を入れて見直しを図ったほうがいいと思う。保健施設は出来ているので、この地域として抱える問題があれば、そこも含めての中で表現していったほうがいい。

委員：あるいは「地域で子どもを育てるまちづくり」という項目があるので、反対に高齢化の社会を見直していく必要があるれば、入れてもいいと思う。

委員：小泉・泉田統合保育園の整備とあるが、保育園へ通ずる道が細く、この問題はどのようになっているのか。

委員：前期の第4分科会で現地調査をし、検討して意見書を提出している。その要望の中にもアクセス道路が狭いという意見を挙げている。意見・要望が進捗する中でどのように処理されているのか確認が出来ていない。現地確認や検証をしてから、意見・取組みなどを出したほうがいいと思う。

会長：の統合保育園のアクセス道路についてはの交通機能にも関係があると思う。

委員：分科会に分かれて、もう少し文言をひとつひとつ吟味してから、全体に投げかけて話し合ってはどうか。

(2) 上田城南地域協議会だよりの発行について

事務局より説明

【主な質疑等】

会長：今回は編集委員を選出していただいた。今回はどのようにしていったらいいか。

事務局：事務局で原案を作成し、検討する形で進めてはどうか。

会長：地域の進捗状況については写真等添付しながら、少し形を作ってみるとの説明だった。そのようなことでいいか。よろしく願いしたい。

委員：前は分科会があり、その代表で編集委員会が出来た。その形にしないと、原案を作ってもらっても誰がチェックするのか。分科会で確立してきたものを、引き続き検討した方が編集しやすいと思う。

委員：来月の協議会までに原案は出来るのか。

事務局：協議会だよりについては原案を見ていただいてということをお願いしたい。

もう1つは、まちづくり方針の関係で、どのような形で検討するか、今日決めておかないと次回に間に合わないと思う。もう一度分科会で進めるとすれば、分科会を決めたほうがいい。

委員：作業で考えると新聞を作るのと、まちづくり方針の文言を考えるという作業になる。だが、どちらの内容も地域協議会はどのような役割なのか、また地域協議会が把握している状況を地域住民の方にお知らせするということになる。

委員：分科会というより、検討会として考えてはどうか。多くの人が意見を出せるようになるのではないか。

委員：城南公民館は別項目で、完成予定等載せたらいいと思う。

委員：前回に引き続いて、検討会の形で4つの分科会に分けて進めていけばいいと思う。

グループ分け

～上田城南地域協議会「地域まちづくり方針」の見直しに係る分科会～

第1分科会

テーマ： 「上田道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくり

第2分科会

テーマ： 人や自然にやさしい交通機能の整備

第3分科会

テーマ： 地域医療体制と保健福祉施設の整備
地域で子どもを育てるまちづくり

第4分科会

テーマ： 自然との共生を目指す里山と農地の保全
歴史的・地域的資源の保全と活用

(3) その他

4 連絡事項等

次回会議開催について

平成 22 年度 11 月 17 日（水） 開催予定

閉 会